

北陸新幹線の経済波及効果

～富山に人を呼び込むためには～

2013年11月30日

富山大学 中村ゼミ 田代、佐々木、中盛、能澤

目次

■研究動機

■研究① 新幹線開通により、観光客は増えるか

■研究② 時間短縮によって、観光客は増えるか

■研究①、②のまとめ

■富山県の強みと弱みを分析

■富山県の魅力を上げるためには？

研究動機

北陸では、2015年春に北陸新幹線が金沢まで開通する。各地域では、開通に向けた地域活性化の取り組みが行われている。北陸経済研究所の調べによると、富山県に約120億円の経済効果が出ると推計されているが、本当に訪れる観光客が増え、またそれなりの開業効果が見込めるのだろうか、ということに興味を持ち、研究しようと思った。



2015年春の
(平成26年度末)
予定です。



新高岡

黒部宇奈月温泉

新潟

金沢

上越妙高

長野

高崎

富山

福井

敦賀

大宮

東京

新横浜

静岡

東海道新幹線

名古屋

京都

大阪

- 営業区間
- 平成26年度末開業予定区間
- 平成37年度末開業予定区間
- ルート未公表区間

研究① 新幹線開通により、観光客は増えるか？

- ・ 東北新幹線(2010年12月4日開通)、九州新幹線(2011年3月12日開通)の先例を用い、効果を見る
- ・ 観光庁のデータをもとに平成19年～平成24年の全国の宿泊者数を月別に比較

※2011年3月11日に発生した東北大震災の影響を踏まえる

各県の宿泊者数を前年度の同じ月の宿泊者数で割り、伸び率を求める。

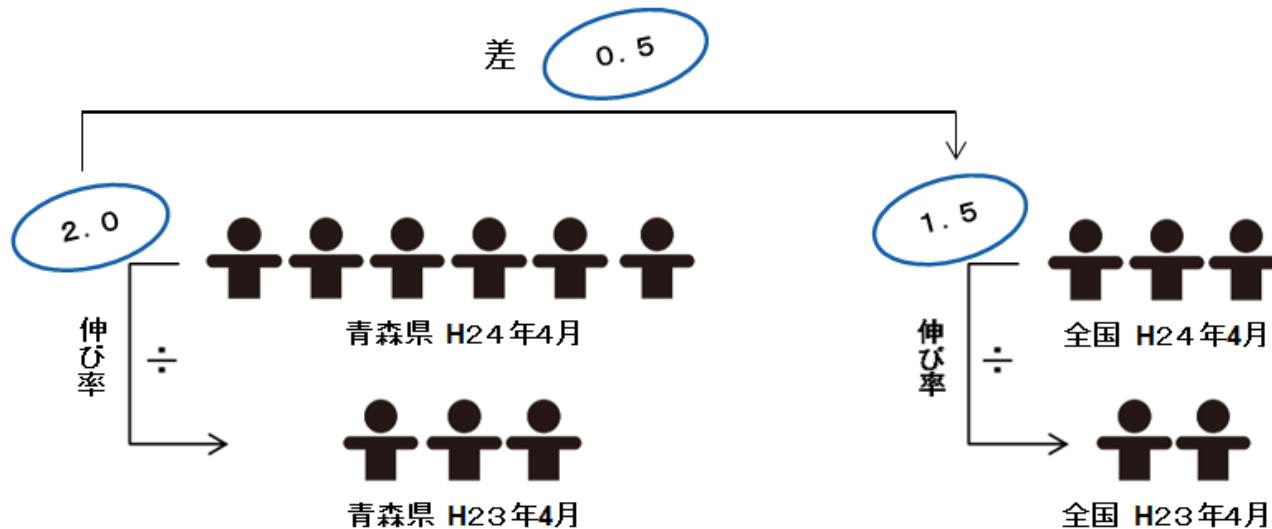
= 対前年同月比伸び率

各県の対前年同月比伸び率

—

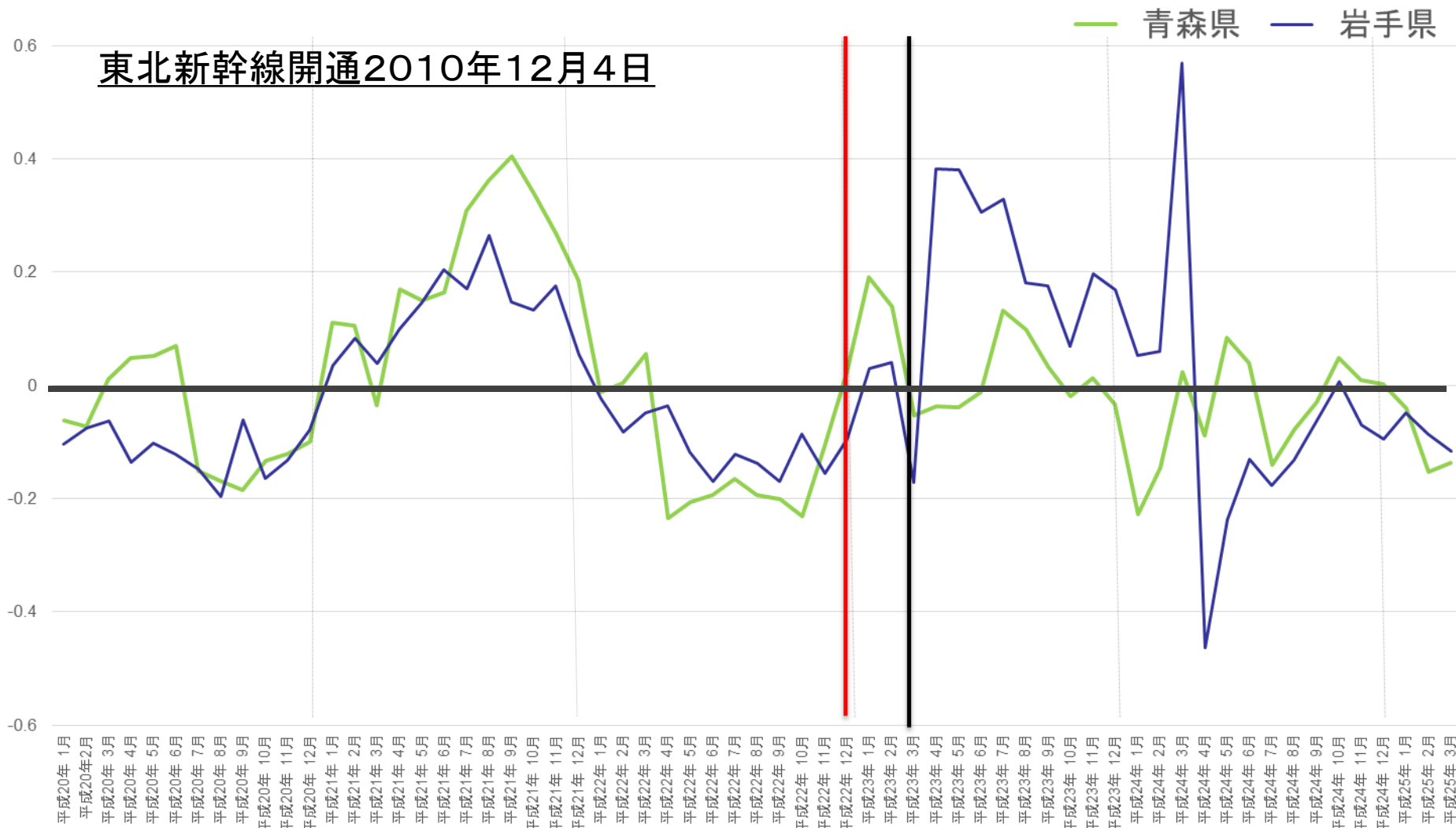
全国平均の対前年同月比伸び率

全国との動きにどれくらいの差があるのかを見た。



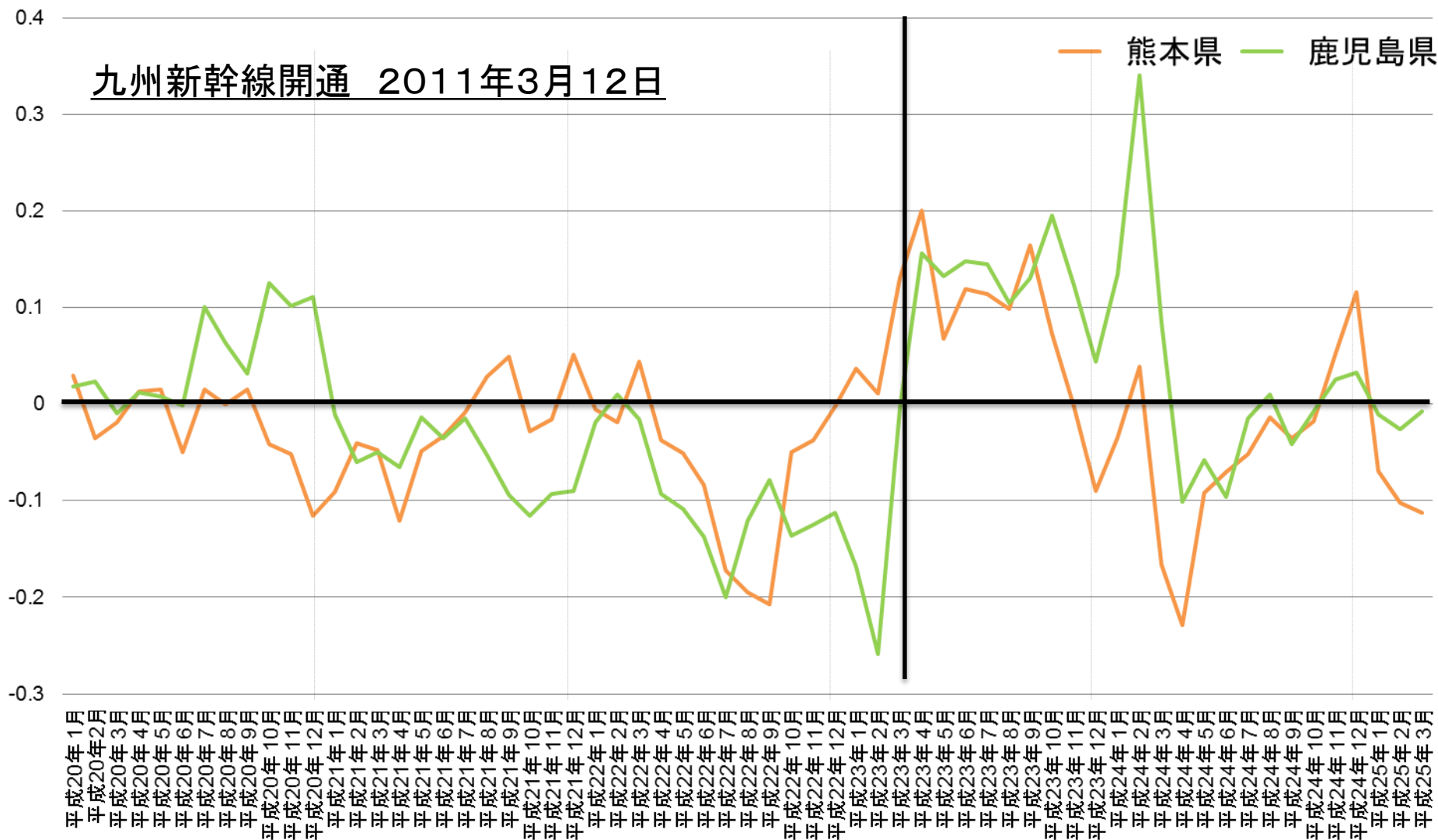
青森県・岩手県の宿泊者数対前年同月比伸び率－全国平均の宿泊者数対前年比同月伸び率

東北新幹線開通2010年12月4日



熊本県・鹿児島県の宿泊者数対前年同月比伸び率－全国平均の宿泊者数対前年比同月伸び率

九州新幹線開通 2011年3月12日



研究①の考察

東北新幹線、九州新幹線ともに開業年月以降にグラフが右上がり。
全国と比べ、宿泊者数が伸びている



開業効果



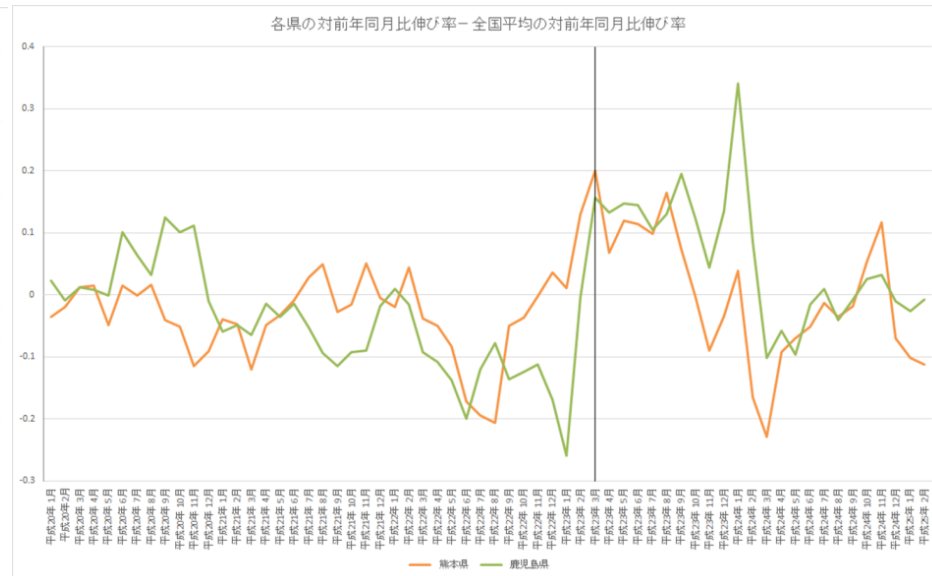
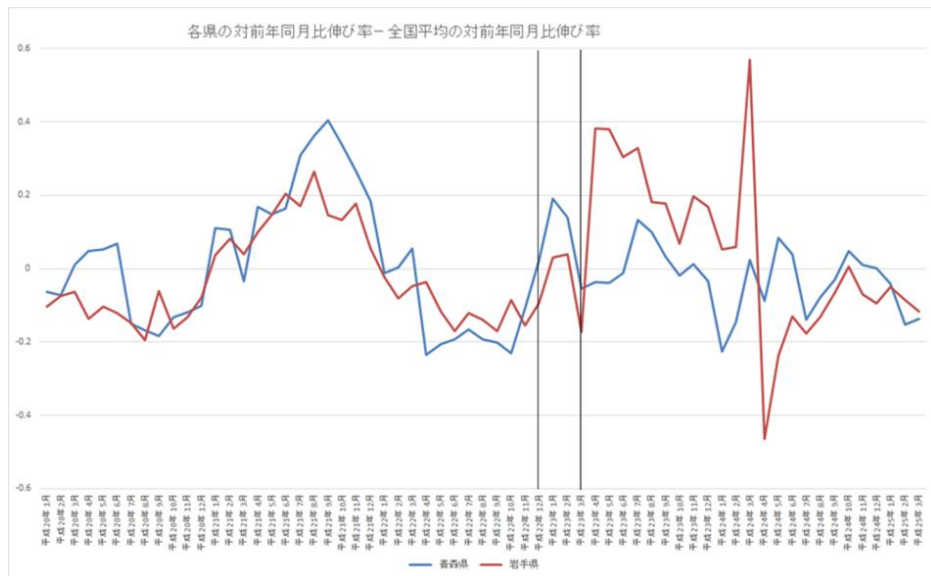
北陸新幹線の開通によって、観光客は増える！

新幹線が開通することにより、観光客は増えると言える

しかし開業効果が1年ほどしか続かないことも明らか

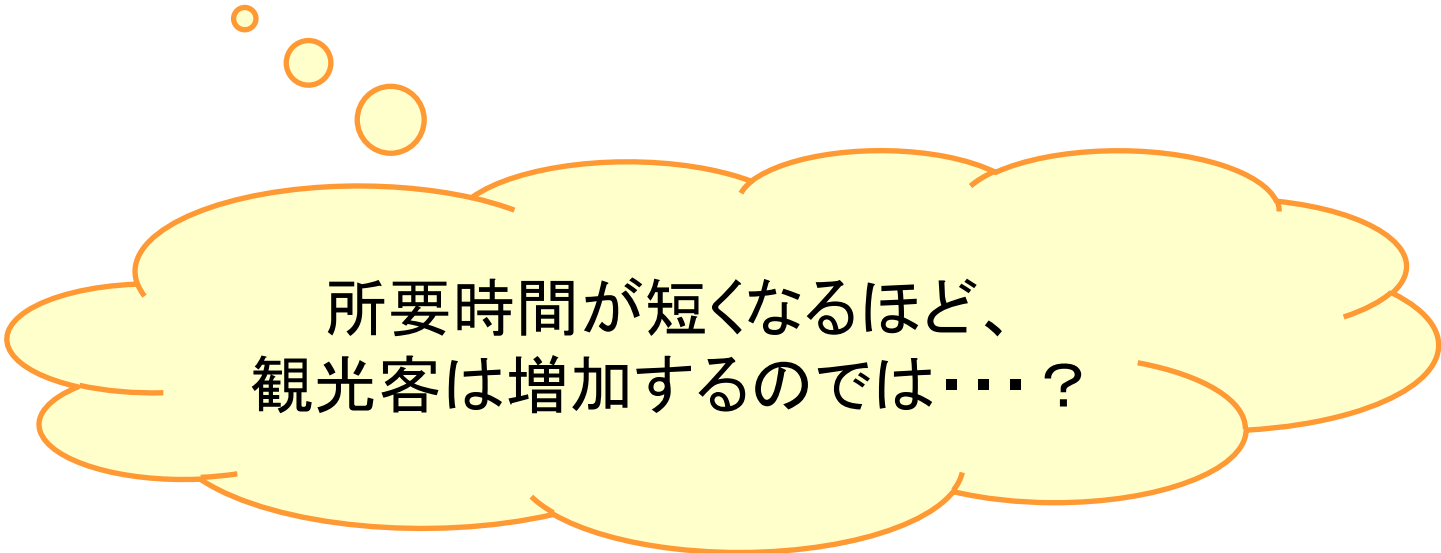


開業効果を長く続けさせるための工夫が必要・・・



研究② 時間短縮により、観光客は増えるか

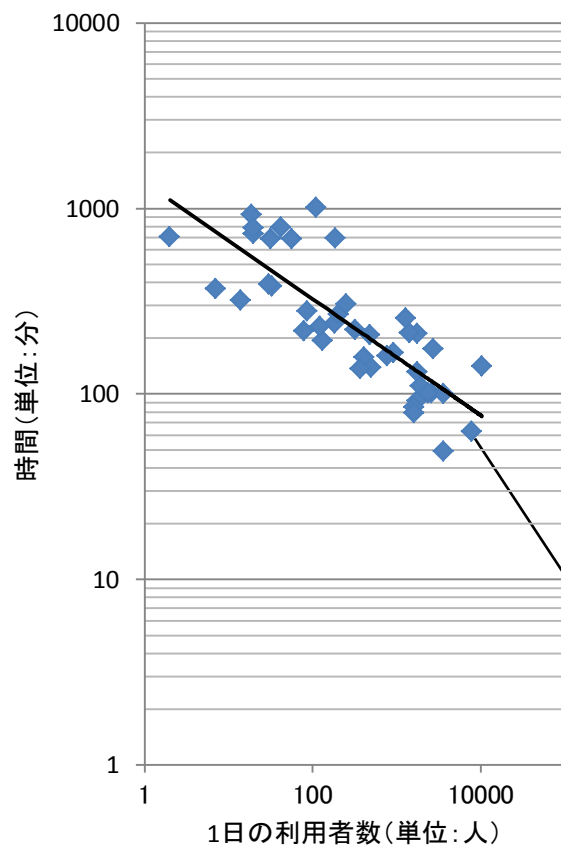
首都圏4県（東京・神奈川・千葉・埼玉）において、観光目的の鉄道利用者数が時間短縮により増加するかどうかを国土交通省が実施している全国幹線旅客純流動調査の都道府県間流動表（居住地から旅行先）【代表交通機関別旅行目的別流動表】とジョルダン（乗り換え案内サイト）の鉄道の所要時間検索を用いて調べた。



所要時間が短くなるほど、
観光客は増加するのでは・・・？

鉄道を利用した観光客の所要時間と人数の関係

東京



東京から行く場合にかかる時間と利用者数を示す、各45道府県

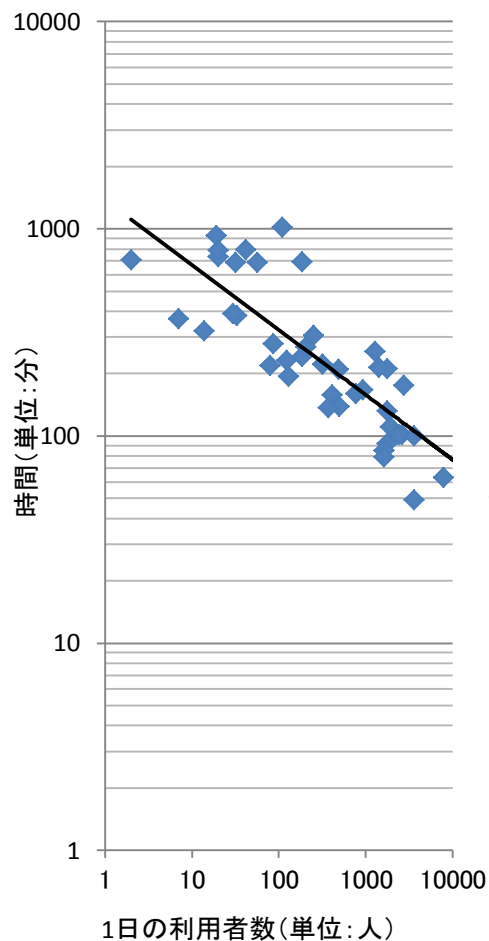
回帰統計	
重相関 R	0.818
重決定 R2	0.669
補正 R2	0.661
標準誤差	1.201

	係数	標準誤差	P-値
切片	17.309	1.308	0.0000...
時間	-2.136	0.237	0.0000...

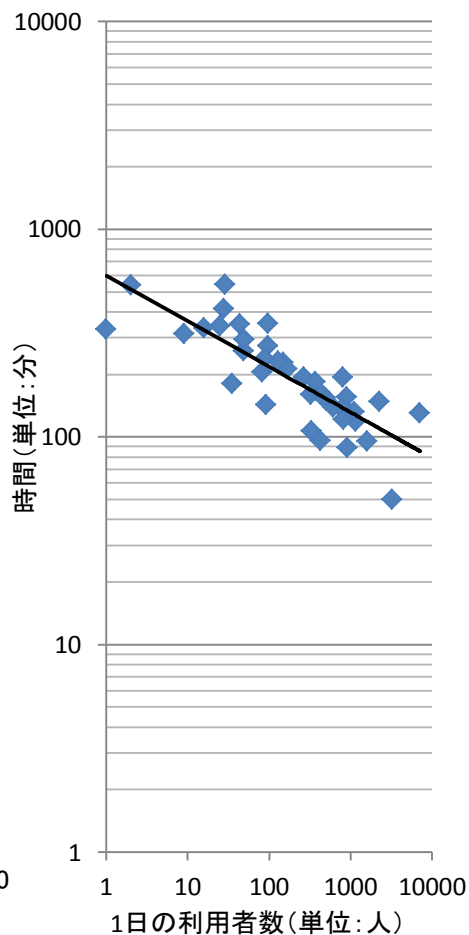
P-値が0.05より小さいと、統計学的に有意であると言われている

回帰分析による結果

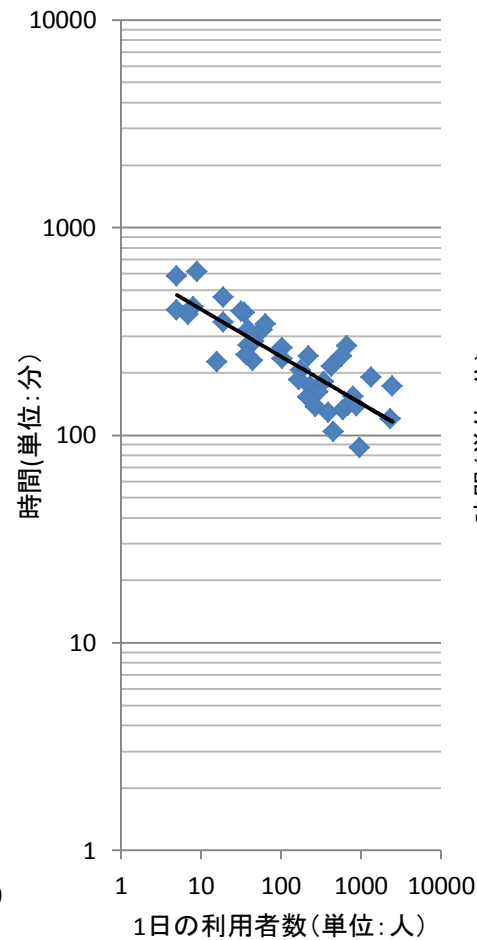
東京



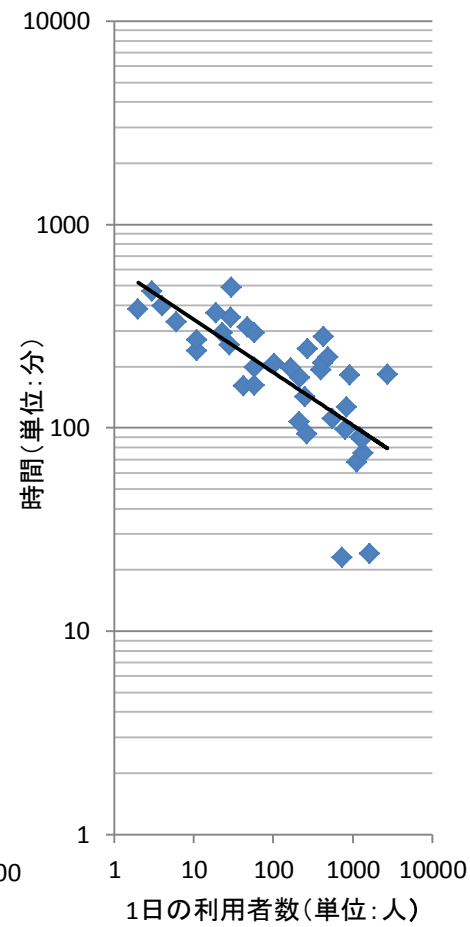
神奈川



千葉



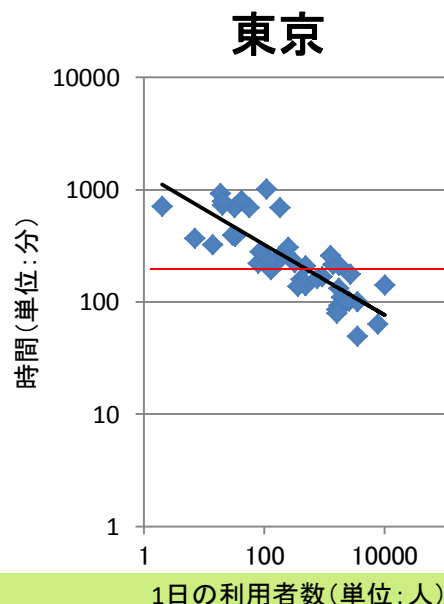
埼玉



考察

データを元に回帰分析を行ったところ4県とも所要時間と利用者数は、有意な関係つまり時間が短縮されれば、利用者数は増加すると考えられる

しかし、時間が同じでも観光客の数に差が出ている。これは観光地の魅力による差が関係しているのではないかと考えた。



同じ時間がかかるところでも、利用者数に違いがあるのはなぜ・・・？

鉄道を利用した観光客の魅力度と人数の関係

47都道府県の魅力度ランキング(ブランド総合研究所「地域ブランド調査2013」)を決めるのに用いられているポイント(認知度も含まれる)を使用し、時間に加え各県の魅力度も考慮して利用者数を新たに回帰分析を行った。

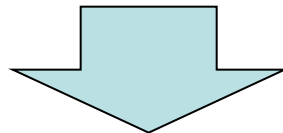
回帰統計	
重相関 R	0.913
重決定 R2	0.834
補正 R2	0.825
標準誤差	0.862

	係数	標準誤差	P-値
切片	12.857	1.181	0.000...
時間	-2.271	0.172	0.000...
魅力度	1.890	0.304	0.000...

分析の結果

$$\text{利用者数(対数)} = 12.87 - 2.271 \times \text{時間(対数)} + 1.890 \times \text{魅力度(対数)}$$

(0.000) (0.000) (0.000)



時間短縮と魅力度の増加は、利用者数の増加につながる

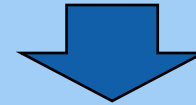
今までのまとめ

■研究①

新幹線開通により、観光客は増えるか？  増える

■研究②

時間短縮により、観光客は増えるか？  一般的には増える



各県の観光客数の違いは、それぞれの地域の魅力によるものが多い・・・？

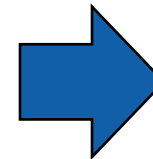
■研究①

開業効果は一年ほどしか続かない

 リピーターを増やす

■研究②

観光客数は地域の魅力度に左右される



富山県自体の魅力を上げるには？

富山の強みと弱みを分析

富山の強み

- ①大自然・・・黒部アルペンルート
黒部ダム・・・高さ日本一
黒部峡谷・・・日本三大渓谷
立山・・・日本三霊山
称名滝・・・落差日本一
五箇山 合掌造り集落・・・世界遺産
- ②食・・・四季折々の変化に富み、美しい自然に囲まれた富山
山海の豊かな自然資源を活用 日本海側最大の湾「富山湾」
・寒ブリ
・白エビ 富山湾Only
・ホタルイカ 高い品質と鮮度 「ホタルイカミュージアム」
etc. ます寿司、かまぼこ、日本酒・・・



③路面電車・・・ライトレール 富山Only
(LRT、次世代型路面電車システム)



④3つの駅設置・・・金沢、新高岡、富山、黒部宇奈月温泉、糸魚川、上越妙高、飯山、長野
(石川県) (富山県) (新潟県) (長野県)

★能登(石川県)へは新高岡駅を経由すると760～1590円安くなる。

東京から能登地方(和倉温泉)や飛騨地方(白川郷)に行くのに、金沢経由や名古屋経由で行くよりも早く、安く行ける。



富山の弱み

①二次交通（路線バス、路面電車、私鉄電車など）

- ・公共交通利用者の減少

②金沢と比較した際の魅力の欠如

- ・観光地までの二次交通の不便さ
- ・知名度の低さ・・・Googleトレンド

③PRの下手さ

- ・富山らしさを生かしたPRが不十分

・公共交通利用者は減少傾向

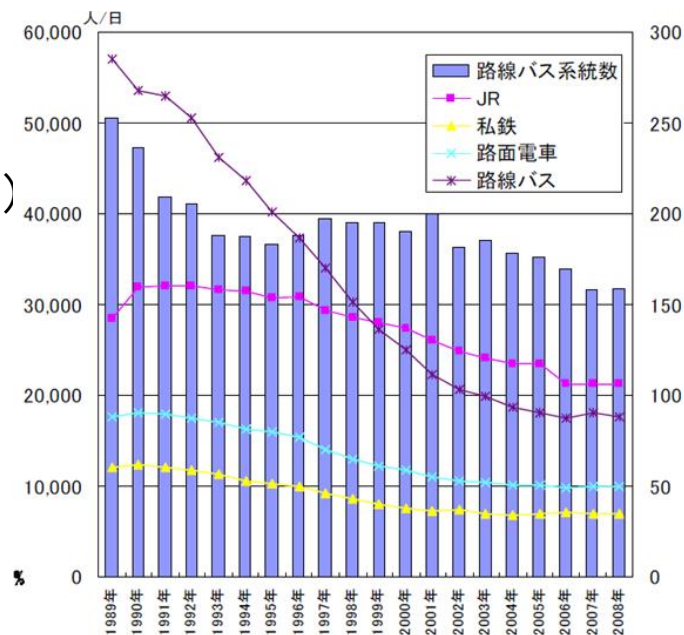
■高い自動車保有率

世帯当たりの乗用車保有台数

1. 72(台)/1世帯当たり **全国2位**(富山県)

(自動車検査登録情報協会発表:平成25年3月末現在)

■衰退する公共交通



＜利用者の減少率＞1989年→2009年(20年間)

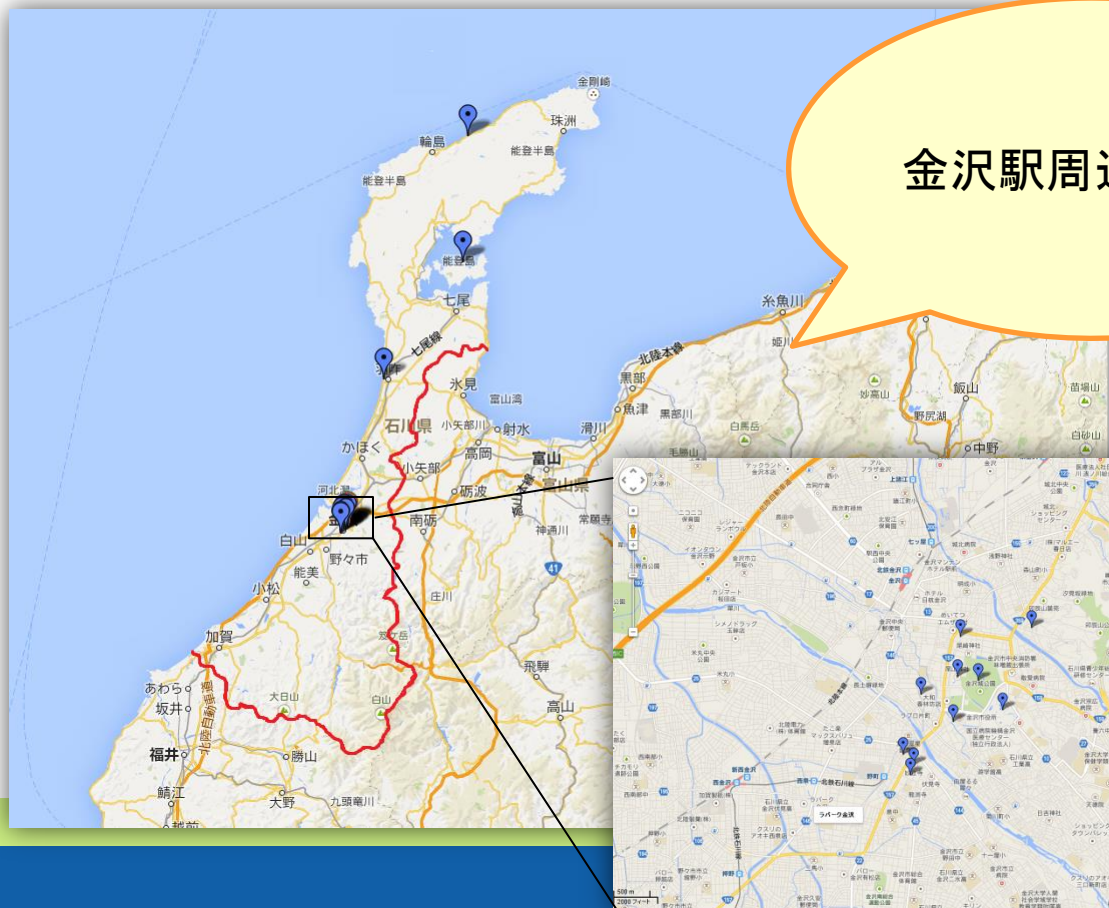
JR:28%減(2006年JR富山港線廃止) 私鉄:44%減 路面電車:42%減
路線バス:70%減 ⇒**路線バスの系統数は過去20年で約4割減少**

図:富山市資料 参照

■観光地までの二次交通の不便さ

〈観光資源自体の分布〉

金沢城、兼六園、近江町市場、東茶屋街、西茶屋街、長町武家屋敷、妙立寺(忍者寺)
21世紀美術館、尾山神社、千里浜、能登島水族館・・・



金沢駅周辺に集中

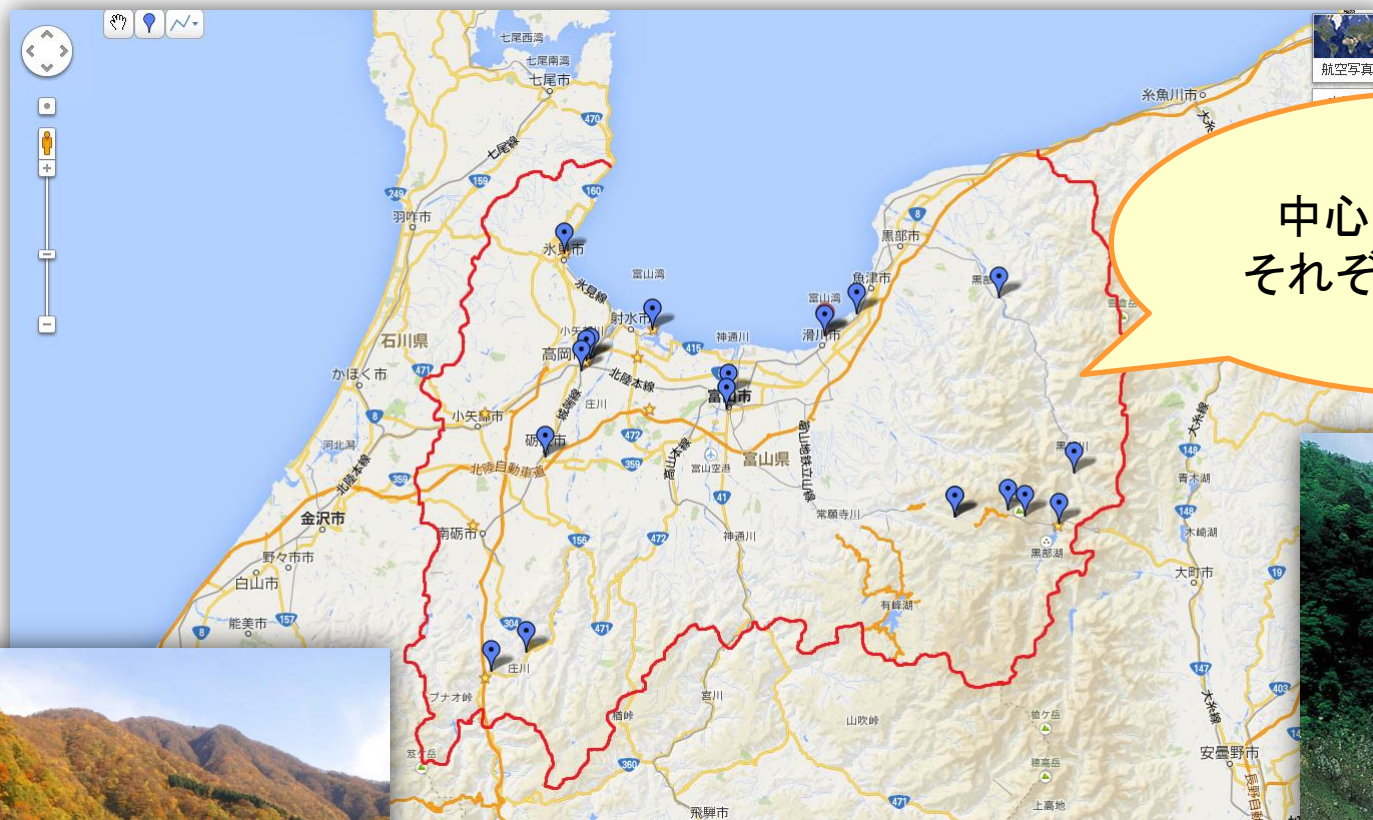


〈観光地を回る手段〉

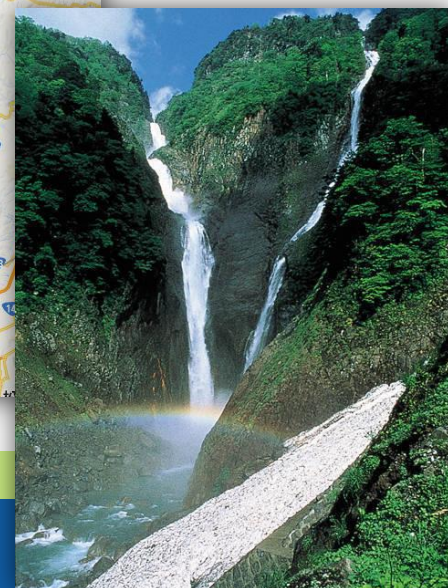
金沢市内の観光地を
一周できる周遊バス



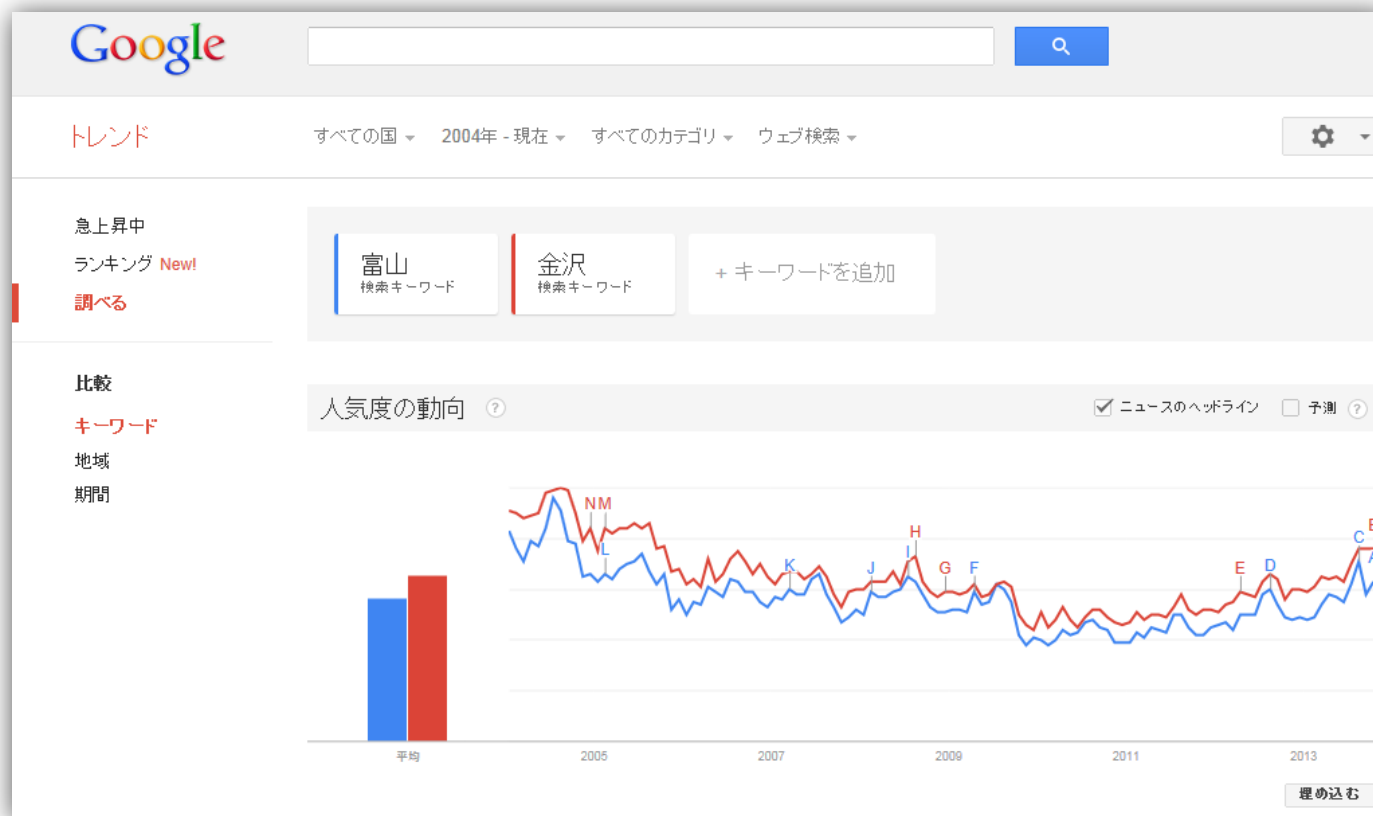
黒部ダム、黒部峡谷、五箇山、立山、称名滝、宇奈月温泉、みくりが池、海王丸パーク、雨晴海岸、高岡大仏、砺波チューリップ四季彩館、おわら風の盆、環水公園・・・



中心地から遠く、
それぞれが散在・・・



グーグルトレンドによる金沢と富山の検索履歴の比較



富山の弱み

③PRの下手さ

■地元ならではのおいしい食べ物が多かった ■魅力のある特産品や土産物多かった

2012年度 順位		
全国平均		54.1
1位	沖縄県	71.9
2位	北海道	70.7
3位	石川県	69.2
4位	香川県	69.1
5位	福井県	68.4
6位	宮城県	68.3
7位	広島県	67.7
8位	鹿児島県	66.9
9位	福岡県	66.7
10位	富山県	65.7

2012年度 順位		
全国平均		43.4
1位	沖縄県	70.0
2位	京都府	58.5
3位	北海道	57.9
4位	鹿児島県	56.4
5位	青森県	54.2
6位	広島県	54.0
7位	富山県	53.8
8位	石川県	53.8
9位	高知県	53.0
10位	宮城県	52.0

延べ宿泊者数ランキング (47都道府県)

富山 39位 ※観光庁HPより

魅力的な食べ物やお土産があるにも関わらず、富山を訪れる人が少ない。

認知、魅力、情報接触、観光意欲、居住意欲、訪問経験、産品購入意欲・・・

計72項目におけるインターネット調査をもとに作成

■魅力度ランキング(47都道府県)

順位	都道府県名	点数	順位	都道府県名	点数
1 (1)	北海道	65.3	25 (23)	香川県	14.5
2 (2)	京都府	49.1	26 (24)	岩手県	14.1
3 (3)	沖縄県	44.3	27 (25)	高知県	13.7
4 (4)	東京都	40.6	28 (26)	山形県	13.5
5 (6)	神奈川県	29.1	29 (43)	福島県	13.3
6 (5)	奈良県	27.3	30 (26)	新潟県	13.2
7 (10)	福岡県	27.1	31 (31)	大分県	13.1
8 (8)	大阪府	26.2	31 (26)	三重県	13.1
9 (7)	長野県	23.9	33 (39)	島根県	12.9
10 (11)	兵庫県	22.6	34 (30)	愛媛県	12.4
11 (9)	長崎県	22	35 (33)	岡山県	12.2
12 (12)	静岡県	21.3	36 (37)	滋賀県	11.4
13 (21)	宮城県	21.1	37 (36)	岐阜県	11.3
14 (13)	石川県	20.4	38 (35)	和歌山県	11.2
14 (18)	鹿児島県	20.4	39 (34)	山口県	10.8
16 (15)	愛知県	18.5	40 (38)	福井県	10.4
16 (19)	熊本県	18.5	41 (44)	栃木県	10.3
18 (20)	千葉県	18.1	42 (42)	鳥取県	10.3
19 (22)	広島県	16.7	43 (41)	徳島県	10.2
20 (14)	青森県	16.4	44 (47)	群馬県	9.5
21 (31)	富山県	15.7	45 (40)	埼玉県	8.6
22 (16)	秋田県	15.2	46 (45)	佐賀県	7
23 (29)	山梨県	15	47 (46)	茨城県	6.6
24 (17)	宮崎県	14.8			

※()内は2012年調査の順位

※参考:ブランド総合研究所

富山の強みと弱みを分析した上で



どうすれば富山をより魅力的にし、魅力をPRできるか？
どうすれば弱みを弱みでなくすることができるか？

富山の現在の取り組みを踏まえ、独自の方法を考える

富山の取り組み



■アニメツーリズムの推進

→「おおかみこどもの雨と雪」の舞台のモデルとなった町での暮らし体験、富山観光アニメプロジェクトによるアニメでの観光地情報の発信

■富山ブランドの発信

→特設HPで富山の食・観光・文化の魅力やイベントの発信

■二次交通の強化

→地方鉄道、バス、タクシー等地域交通機関の共通周遊券の発行、観光地への直通バス

■PR

→JR・大手旅行会社(JTB等)の協力による富山県PR

私たちが考える政策・アイデア

■二次交通手段の観光資源化

・食＋ライトレール

市内電車、ライトレールの中でスイーツバイキング
(富山の食材を使って)

乗ること自体の楽しみを提供

二次交通の不便さをカバー

・2階建て路面電車やバス、ライトレール・路面電車等のラッピング

■コバンザメ政策

金沢＞富山

・富山→金沢特典！

・新高岡駅を利用した能登地方「和倉温泉」(石川県)や
飛騨地方「白川郷」(岐阜県)への観光方法の提示



※高岡市公式HP参照

強みを生かす

■ 自然資源の活用

- ・黒部ダム(高さ日本一)を利用したバンジージャンプ
日本初！
- ・寒ブリ釣り大会
競争心→リベンジ
人とのつながり「第二のふるさと」



PR不足を解消

■ インターネット、SNSを用いたPR

- ・より使いやすい観光用ホームページの作成
- ・動画投稿サイト(You Tube等)を利用した観光地のPR



※You Tubeより

まとめ

- ・研究①より新幹線の開通により、観光客の増加が見込まれることがわかり、また開業効果は1年ほどしか続かないことが分かった。
- ・研究②より利用者数の増加には、時間短縮と魅力度の増加が関係することが分かった。

- ・新規の観光客を呼び続けるのには限界があるため、リピーターの増加が必要だと考える。

- ・富山自体の魅力あげるために強み・弱みを分析し、富山の取り組みを踏まえた上で自分たちで政策・アイデアを考えた。

- ・富山県のさらなる観光客の増加が起これば、北陸新幹線の開通による経済波及効果は見込みよりも大きなものになるだろう。

参考文献

■観光庁 宿泊旅行統計調査

<http://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html> (7月24日参照)

■ジョルダン <http://www.jorudan.co.jp/> (7月31日)

■国土交通省 全国幹線旅客純流動調査

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_fr_000009.html (7月31日)

■じゃらん 調査データ

http://jrc.jalan.net/jrc/files/research/jalasyuku_20130723.pdf (10月3日)

■コンパクトシティ戦略による富山型都市経営の構築

http://www.soumu.go.jp/main_content/000155037.pdf#search='JR%3A28%25%E6%B8%9B%EF%BC%88%EF%BC%92%EF%BC%90%EF%BC%90%EF%BC%96%E5%B9%B4%EF%BC%89' (10月15日)

■グーグルトレンド

<http://www.google.co.jp/trends/explore?q=%E9%87%91%E6%B2%A2#cat=0-67&q=%E9%87%91%E6%B2%A2%2C%20%E5%AF%8C%E5%B1%B1&geo=JP&cmpt=q> (10月15日)

■ブランド総合研究所 「地域ブランド調査2013」 魅力度ランキング

http://tiiki.jp/news/05_research/survey2013/1684.html (10月15日)

■北日本新聞 <https://webun.jp/member/login/> (10月17日)

■フォートラベル <http://4travel.jp/> (10月17日)

■中日新聞 <http://www.chunichi.co.jp/article/toyama/20131005/CK2013100502000041.html> (10月18日)

■富山観光ナビ <http://www.info-toyama.com/> (10月19日)

■富山ブランド ホームページ <http://toyama-brand.jp/> (10月19日)

■富山県ロケーションオフィス <http://www.location-toyama.jp/> (10月20日)

■富山県ホームページ 新幹線戦略とやま県民会議

http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1002/kj00011870-004-01.html (10月20日)